

【授業科目】基礎セミナーⅡ（応用）

担当教員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	オフィスアワー	教職員への授業公開
千原猛、東川薫、若山裕良、杉浦諭、山口央輝、大島茂、榎本喜彦	1年次後期	必修	1	30	演習	巻末掲載	可
授業概要 (内容と進め方)	基礎セミナーⅠの学修を踏まえて、保健看護医療福祉の分野から、個人またはグループで関心のあるテーマを選び、関連した文献を読み、グループディスカッション等を通し、考察を深め、プレゼンテーション、レポート作成を行う。						
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー⑤「将来に向け臨床検査を主体的に学び、臨床検査の専門職としてのキャリアを伸ばせる能力を持つことができる。」の達成に寄与している。						
到達目標 (履修者が到達すべき目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保健看護医療福祉の分野から自分やグループの関心のあるテーマについて、文献等の的確な資料収集ができる ・収集した資料を論理的にまとめ、レポートを作成することができる ・グループでテーマを選び、ディスカッション、ディベートなどの方法を通して意見発表、意見交換を行い、テーマの考察の広がり・深まりを学ぶとともに、グループ内での役割を理解することができる ・この学修を通して学んだ方法について他の科目の学修に活用することができる 						
時間外学習に必要な学修内容および学習上の助言	<p>第1回～第15回 事前学習：基礎セミナーⅠで学んだことを復習しておく特に参考資料の見つけ方、レポートの書き方は必ず事前学習をしておく</p> <p>課題に関する文献検索、発表のための資料・要約の作成は個人で行っておくこと文献検索はインターネット上の資料に偏らないこと、専門雑誌や図書を活用する</p> <p>※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（2単位15回科目の場合：予習+復習4時間/1回）（1単位15回科目の場合：予習+復習1時間/1回）（1単位8回科目の場合：予習+復習4時間/1回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。</p>						
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション 自己紹介 授業の進め方等</p> <p>第2回 健康・医療・看護・福祉等に関するテーマを見つける①</p> <p>第3回 健康・医療・看護・福祉等に関するテーマを見つける②</p> <p>第4回 健康・医療・看護・福祉等に関するテーマを見つける③</p> <p>第5回 テーマ・課題に関する文献検討、ディスカッション等を行い、考察を深める①</p> <p>第6回 テーマ・課題に関する文献検討、ディスカッション等を行い、考察を深める②</p> <p>第7回 テーマ・課題に関する文献検討、ディスカッション等を行い、考察を深める③</p> <p>第8回 テーマ・課題に関する文献検討、ディスカッション等を行い、考察を深める④</p> <p>第9回 発表方法の検討、発表の資料づくり①</p> <p>第10回 発表方法の検討、発表の資料づくり②</p> <p>第11回 プレゼンテーション、意見交換①</p> <p>第12回 プレゼンテーション、意見交換②</p> <p>第13回 プレゼンテーション、意見交換③</p> <p>第14回 グループ討議、レポート作成①</p> <p>第15回 グループ討議、レポート作成②</p>						担当教員がそれぞれクラスごとにすべての回を担当
評価方法 評価基準	レポート 40% プレゼンテーション 40% グループワーク 20%で総合的に評価する						
教科書	特に指定しない			参考書等	基礎セミナーⅠの指定教科書、講義の中で適宜紹介する。		
学生へのメッセージ	現代社会における健康・保健・医療・看護・福祉等の課題に目を向け、グループワークディスカッションや文献検討等を通して広く考えて欲しい。また、レポートの書き方（テーマの設定、レポートの構成、資料や文献の活用方法など）をしっかりと習得されたい。その学びの中から論理的また実証的に考える態度を身につけることを期待したい。						